

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		児童発達支援 ふるーれ		公表日		2026年 3月 9日		
	チェック項目	はい	いいえ 分からない	工夫している点	課題や改善すべき点			
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	9 75%	3 25%	・1クラスの人数に対して、スペースは充分だと思う。	・限られたスペースの中で、お子さんが集中して活動できるように、机の配置等の配慮を行います。		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	12 92%	1 8%	・毎回4人のスタッフで対応している。	・継続します。		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	9 75%	3 25%	・子ども用のトイレがない（大人用で対応しお子さんの体格に合わせて踏み台を用意しています。） ・玄関に入るまでの石段あり、高い段からの飛び降り防止にブランターを置いたり、転倒時に備えて、クッションシートを貼る等の対応を行っています。	・借家のため、大幅な改造は困難ですが、できる限り安全に過ごせる配慮はしていきます。		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	11 92%	1 8%	・活動ごとに机や椅子の消毒や療育室内の清掃、遊具や教材の消毒を行っています。	・継続します。		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	7 58%	5 42%	・同じ空間の中でも、落ち着いて活動できるように机の配置等を工夫しています。	・限られたスペースの中で、お子さんが集中して活動できるように、机の配置等の配慮を行います。		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	12 100%	0 0%	・活動の前後に職員ミーティングを行い、目標の確認や振り返りの時間をきちんと取っています。 ・職場内での打ち合わせを定期的に実施します。	・業務中の課題を見出す視点を、職員全員が持てるように、きめ細かい打ち合わせを行い、職員全員が同じ視点で療育が行われるようにします。		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	10 83%	2 17%	・保護者向けの評価表の他に、日々の送迎時や連絡帳で聞き取った保護者からのご要望に迅速に答えるようにしています。	・制度や設備・環境面での制約はありますが、できる範囲で、保護者の意向にお答えしていきたいと思えます。		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	11 92%	1 8%	・毎回のミーティングや、期ごとの打ち合わせ等、話し合いの場を設け活用しています。	・毎日の朝礼や、ミーティングで職員が意見を出しやすいように、風通しの良い職場になるように心がけ、職員全員で業務改善できるようにします。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	3 25%	9 75%	・実施されているかわからない ・改善内容について、職員に周知し改善に向けて対応している。	・第三者評価は受けていませんが、練馬区の訪問調査などでの指摘事項は職員に周知し、改善に向けています。		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	12 100%	0 0%	・随時研修案内を行っている。研修参加後は研修資料の配布などで共有し、周知を図っている。	・療育に影響のない範囲で、積極的に外部研修の受講を勧めています。受講後は、研修報告を行ったり、資料を配布して内容の周知を図り、職員のスキルアップにつなげています。		
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	11 92%	1 8%	・支援プログラム作成時には、職員全員が関わるようにしています。	・ホームページに掲載していますが、保護者にご理解いただけるように、周知していきます。		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	11 92%	1 8%	・個別支援計画作成時、療育に関わる職員全員が関わり作成しています。	・複数の職員が関わり、適切な個別支援計画が作成できるようにしていきます。		
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	11 92%	1 8%	・個々のお子さんの情報収集など、日常的にミーティングを実施するなかで把握し、綿密に計画を作成しています。	・一人のお子さんに対して、共通した見解をもち、個別支援計画を作成できるようにしていきます。		
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	11 92%	1 8%	・個別支援計画は職員全員が把握し、計画に沿った支援ができるようにしています。	・継続します。		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	10 83%	2 17%	・心理職を中心に、お子さんの行動を評価し、その行動に対してどのように対応していくかを話し合い、確認したうえで支援しています。	・継続します。		

適切な支援の提供	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	11 92%	1 8%	・個別支援計画の中に「本人支援」「家族支援」「移行支援」等、お子さんに必要な内容を記載し、その対応方法を具体的に提示しています。	・継続します。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	12 100%	0 0%	・リーダー職員と心理スタッフが中心になりお子さんの状況に応じて、活動プログラムの内容を吟味して行っています。	・継続します。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	12 100%	0 0%	・個々のお子さんの具体的な姿を共有し、プログラムにつなげています。 ・療育前後のミーティングを行い、お子さんの状況に応じたプログラムの立案を行っています。	・継続します。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	12 100%	0 0%	・お子さんの行動特性を把握し、個別活動と少集団活動を行っています。	・継続します。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	12 100%	0 0%	・療育前に必ず打ち合わせを行い、療育内容や個々の対応方法、職員の役割分担等確認しています。	・継続します。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	12 100%	0 0%	・療育後、その日の内容について振り返り、あわせてヒヤリハット報告も行い、状況に応じた改善点を確認しています。	・継続します。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	12 100%	0 0%	・プログラムと活動内容・個々のお子さんの活動の様子と併せて、保護者からの要望等を記録し、周知し確認できるようにしています。	・継続します。
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	11 92%	1 8%	・年間2回のモニタリングを行っています。またお子さんの発達状況によっては、必要に応じて個別支援計画見直しを行っています。	・継続します。
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6 50%	6 50%	・相談支援事業所とは、モニタリングの際電話で対応しています。お子さんやご家族の状況を相互に情報提供しています。 (個別支援計画は、各担当相談支援事業所に家族の承認を得てから、郵送しています。)	・継続します。
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6 50%	6 50%	・保健相談所との連携について、入所前に個別の情報提供又は空き状況の情報の問い合わせがあり、応じています。他の機関からの要請があれば応じる準備があります。	・継続します。
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	7 58%	5 42%	・要請があれば対応できるようにしています。(対幼稚園や保育園とは、書面に連携する用意をしています。)	・継続します。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	7 58%	5 42%	・就学支援シートを作成し、活用につなげています。	・継続します。
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	1 8%	11 92%	・必要があれば、連携し助言等を受けることは吝かではありませんが、現在は必要性を感じていません。	・状況に応じて対応します。
32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	1 8%	11 92%	・在籍しているお子さんのほとんどが就園し、その中で地域のお子さんと活動しているため、地域のお子さんとの交流の必要性はないと思っています。	・現状を維持します。	

	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	12 100%	0 0%	・送迎時の会話や連絡帳などで、お父さんの様子を細かく報告し、共通理解を持っています。	・継続します。
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	9 75%	3 25%	・特化した「ペアレントトレーニング」は行っていないが、療育参観や心理相談等で、家庭での対応等についてお伝えしています。	・継続します。
保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	11 92%	1 8%	・契約時に、重要事項説明書と利用契約書を説明する中で、支援プログラムや利用者負担等について丁寧に説明しています。また、保護者から問合せがあれば、すぐに対応しています。	・継続します。
	36	児童発達支援計画を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点から踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	11 92%	1 8%	・療育参観や心理相談で、保護者の意向を確認しています。	・継続します。
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	11 92%	1 8%	・療育参観で、お父さんの様子や課題と保護者の要望等を確認し、個別支援計画案を作成し提示しています。内容を保護者に確認していただき、質問や要望を聞き説明し、加筆訂正したものを提示し、承認をいただいています。	・継続します。
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	11 92%	1 8%	・心理職員が1日出勤する日を、心理相談日として、保護者からの希望に応じて事前予約していただき相談を実施しています。これ以外緊急の場合は、できるだけ早く実施できるように日程調整をしています。	・継続します。
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	7 58%	5 42%	・年間2回の保護者会を開催しています。 ・要望に応じて、兄弟姉妹の相談を受けています。	・継続します。
	40	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	11 92%	1 8%	・問38の工夫している点参照	・継続します
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	11 92%	1 8%	・毎月「ふるーれだより」を発行して、行事予定や子育てのヒントなどの情報を発信しています。	・継続します。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	11 92%	1 8%	・職員全員が、年度初めに個人情報保護の誓約書を提出しています。個人記録等は、鍵のかかる棚に保管しています。	・継続します。
	43	障害のある子どもや保護者との意思疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	11 92%	1 8%	・意思疎通の難しいお父さんについては、絵カードなどのコミュニケーションツールを使っています。	・継続します。
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	2 17%	10 83%	・地域住民を対象にした行事は行っていません。(事業所単位での行事は行っていません)	・法人の取り組みで人形劇等を開催します。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	12 100%	0 0%	・各マニュアルを作成し、見直しや研修・訓練を実施しています。	・年度ごとに見直し、状況にあったマニュアルを作成し、職員や家族に周知し訓練を実施します。
	46	業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	12 100%	0 0%	・各BCPを作成し、地震、台風、火事の時に慌てないように、読み合わせと訓練を行っています。	・年度ごとに各BCPを見直します。
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	11 92%	1 8%	・活動時の服薬は対応していません。 ・予防注射接種の有無や体調などは毎回受け入れ時に確認しています。	・継続します。
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づき対応がされているか。	8 67%	4 33%	・食事やおやつ提供はしていません。 ・お父さん各自で、飲み物(水かお茶)を用意しています。	・継続します。 ・小麦粉粘土使用前に小麦アレルギーについて確認するほか、アルコール等の消毒についても確認します。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	12 100%	0 0%	・年度ごとに安全計画を見直し、職員に周知しています。	・継続します。

50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	10 83%	2 17%	・子ども行動において危険が無いように、危険箇所への立ち入り等の禁止事項を、その都度確認しています。	・継続します。
51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	12 100%	0 0%	・日々の出来事を記録し、月ごとにまとめを行い、内容を周知し、対策を全員で確認、実施しています。	・継続します。
52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	11 92%	1 8%	・虐待について、職場内研修を行うほか、虐待防止チェックを行っています。	・継続します。
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	11 92%	1 8%	・個別支援計画の中に、身体拘束を行う内容について明記しています。日々の支援の中でやむを得ず身体拘束をした状況を記録に残し身体拘束をなくすための対応について、検討しています。	・継続します。